

【NEWS RELEASE】

2025年5月22日

サーモス株式会社

## 試合会場での使い捨て容器の削減を目指すサーモスとアルバルク東京の新たな取り組み 『ドリンク容器リユースサービス』実証実験結果レポート

魔法びんのグローバル企業として、人と社会に快適で環境にもやさしいライフスタイルを提案するサーモス株式会社（本社：東京都港区 社長：片岡 有二）は、2025年3月29日（土）と4月26日（土）にプロバスケットボールクラブ「アルバルク東京」のホームゲーム会場でのサーモスブースにて、『ドリンク容器リユースサービス』の実証実験を行いました。この2日間の取り組みを通して、のべ145の方にご参加いただき、合計で163個のリユースタンブラーが利用されました。この取り組みは、SDGsパートナー契約を締結しているアルバルク東京と協力し、ホームゲーム会場内での使い捨てドリンク容器の削減を目的としています。

当社は、Bリーグ所属のプロバスケットボールクラブ「アルバルク東京」と2021年よりSDGsパートナー契約を締結し、『マイボトル推進プロジェクト』を通じて環境負荷の低減に取り組んでまいりました。

このたびの『ドリンク容器リユースサービス』は、2025年秋に開業が予定されるアルバルク東京の新ホームアリーナ（TOYOTA ARENA TOKYO）への導入を目指しております。

### ■ 実証実験結果

実施日	1回目：2025年3月29日（土）ファイティングイーグルス名古屋戦 2回目：2025年4月26日（土）川崎ブレイブサンダース戦
貸出数	<b>総数：163個</b> 2025年3月29日（土）ファイティングイーグルス名古屋戦）：88個 2025年4月26日（土）川崎ブレイブサンダース戦）：75個
返却数	<b>総数：162個</b> 2025年3月29日（土）ファイティングイーグルス名古屋戦）：88個 2025年4月26日（土）川崎ブレイブサンダース戦）：74個



<アンケート結果> ※1回目ご利用者様にアンケートを配信

#### ・今後のサービス利用意向

ぜひ利用したい+機会があれば利用したい計：86%

#### ・サービスを利用した主な理由

- 1位：ドリンクの割引があったから（20%）
- 2位：環境に良いと思ったから（18%）
- 3位：目新しい取り組みで興味があったから（16%）

## 『ドリンク容器リユースサービス』とは

環境負荷の低減を目的とした取り組みとして、ホームゲームにおける使い捨てドリンク容器削減のため、ホームゲーム会場内のサーモスブースで「リユースタンブラー」の貸し出しを実施。

魔法びん技術により、保温・保冷に優れた「リユースタンブラー」を使用することで飲み物の適温を保ちながら、最後までおいしくいただくことが可能。また、対象店舗にて「リユースタンブラー」をご利用いただくことで、飲み物をお得にご購入いただけるキャンペーンも同時に実施。

### <実証実験概要>

日程：2025年3月29日（土） ファイティングイーグルス名古屋戦

（会場：有明コロシアム（東京都江東区青海2丁目4-24）

2025年4月26日（土） 川崎ブレイブサンダース戦

（会場：国立代々木競技場第一体育館（東京都渋谷区神南2丁目1-1）



実施内容：・会場内サーモスブースにて、リユースタンブラーを無料で貸し出し

・対象の飲食店にて、飲み物をリユースタンブラーで提供

・利用対象となる飲み物は対象飲食店でご購入いただく生ビールおよび缶ビール

貸出場所：サーモスブース

貸出時間：開場～ハーフタイム終了時まで

返却時間：ハーフタイム終了後～試合終了20分後まで

利用方法：①会場内のサーモスブースにて「リユースタンブラー

（真空断熱タンブラー）」を借りる

②対象店舗にて対象のドリンクを購入し、「リユースタンブラー」  
に入れてもらう

③指定の返却場所に「リユースタンブラー」を返却



※1 試合100個限定

※リユースタンブラーは対象店舗・対象ドリンクでの使用に限る

「リユースタンブラー（真空断熱タンブラー）」

### ■当社とプロバスケットボールクラブ アルバルク東京との取り組み

2021年よりアルバルク東京とサーモスは「SDGsパートナー」契約を締結しており、アルバルク東京のホームゲームにおいて試合観戦時のマイボトル利用を促す『マイボトル推進プロジェクト』や、真空断熱ジョッキでドリンクを提供する特別企画シート「THERMOSシート」の設置、ホームゲーム会場での使い捨て容器の削減に向けた施策など、様々な取り組みを推進しております。

**ALVARK**  
TOKYO